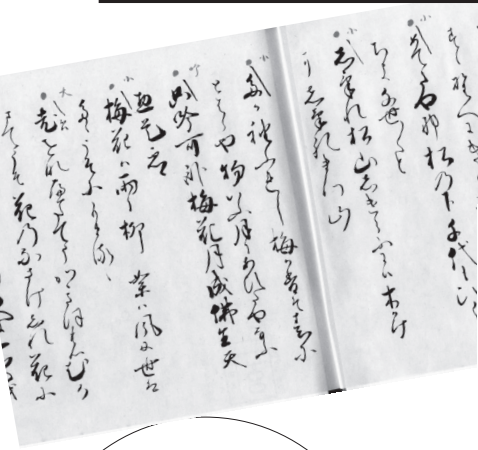


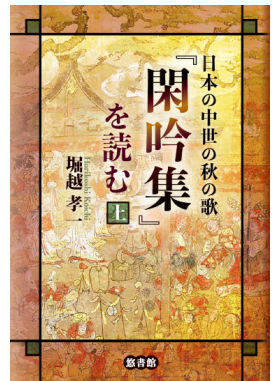
日本の中世の秋の歌 『閑吟集』を読む (上・下)



ここに一狂客あり、三百余首の謳歌を編み、名づけて閑吟集といふ

—室町時代から戦国時代へかけて、世の中がおもしろく動いた。演劇もおもしろくなった。田楽から能へ。この時代に生きた男が札の森へ能を見に行く。見た能に触発されて、小歌をもつする。あるいはかれの創作が能の台詞作りを共有したこともあったか。その辺の消息、ゾクゾクするほどおもしろい。

(未完の「まえがき」より)



本体各 2,500 円+税
四六判・各 456 ページ
978-4-86582-038-6 (上)
-039-3 (下)

西洋中世史の碩学が、晩年にその知性を傾注し続けたのが室町歌謡集『閑吟集』への注釈でした。『万葉集』『古今集』『源氏物語』『枕草子』をはじめとする古典文学の深い森を縦横に逍遙しながら、〈日本の中世の秋〉の世界にいきないます。まるで重力から解放されたかのように自在に古典の世界を往還する碩学の名人芸、存分にご堪能あれ!

“読みの愉楽を
味わえる書”
(小峯和明氏解説より)

目次	【上巻】 花の錦の下ひもハ 閑吟集私注一はじめに 序歌 花の錦の I 誰が袖触れし梅がぞ II あら、卵の花や、卵の花や	III わが恋は、水に燃え 立つ螢 IV 人の心の秋の初風 V 今朝はとりかき聚たる松の葉は 本書を読むにあたって	【下巻】 V 今朝はとりかき聚たる松の葉は(続) VI いぎ引く物をうたわんや VII あの鳥 VIII 人の心は ご挨拶	堀越孝一『閑吟集』注釈を読む(小峯和明) 〈ホモ・ルーデンス〉ドクトル堀越の遊びの極意を見つけたり! 編集後記補遺 注釈重要語句一覧
----	--	---	---	---

堀越孝一(ほりこし・こういち) [著]

「資料を、書かれた時代の文脈において読む」姿勢を貫いた、ヨーロッパ中世史学の泰斗。半生をかけて探求したヴィヨン遺言詩にくわえて、日本の中世歌謡にも傾注。注釈書『わが梁塵秘抄』も著している。著書に『中世ヨーロッパの歴史』、『中世の秋の画家たち』、『ヴィヨン遺言詩注釈』ほか、訳書にホイジンガ『中世の秋』、『西洋騎士道事典』、『騎士道百科図鑑』、『ヴィヨン遺言詩集』、『パリの住人の日記』(I~III)ほか。学習院大学名誉教授。

取り扱い書店・ご担当者様

日本の中世の秋の歌 『閑吟集』を読む 上・下 (お申し込み冊数) 冊

中世ヨーロッパの精神 四六判・512頁 3,000円+税 978-4-86582-037-9
堀越孝一の歴史の作法—資料との向き合い方とその実践編、そして堀越ブシ炸裂の「最終講義」を収録! 冊

放浪学生のヨーロッパ中世 四六判・450頁 3,000円+税 978-4-86582-032-4
歴史と文学とのせめぎ合い—滋味と諧謔精神に富む文章で西洋中世史とヴィヨン探求の道程を詳らかに。 冊

ヴィヨン遺言詩集 形見分けの歌 遺言の歌 四六判・414頁 2,800円+税 978-4-86582-011-9
詩人は15世紀のパリを照射し、歴史家は時代の空気を今に伝える—実証精神と想像力が融和した達意の訳業。 冊

FAX 03-3812-7504

【取次】トーハン・日販・楽天BN・八木書店・緻谷書店 ※委託料

TEL 03-3812-6504 <http://www.yushokan.co.jp/>
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303

◎恐れ入りますが、ご注文の際は 4/12 までにご返信をお願い致します。